

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等	
教育・学校心理学		選択	2	3(～24) 2.3(25)	後期	
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー		
高田 毅	B301	t.takada		水曜日 12:10～13:00		
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt;教育領域の心理学として、スクールカウンセリングを中心に学ぶ。問題の構造と支援を理解することを目的とする。学習理論、発達理論、集団力学などを教育現場に応用できることが目標である。</p> <p>&lt;概要&gt;対面授業で展開する。ディスカッションやミニワークなどを通して体験を深める。前半は教育心理学、スクールカウンセリングの理論、後半は教育現場の問題の各論を扱う。事例などを用いながら、具体的に自分ならどう考えるかを言葉にし、比較対照しながら理解を深めていく。</p>					
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	<input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク
学習上の助言	<p>発言を求めながら進めるので、積極的に参与すること。</p> <p>講義中の質問・疑問・関心・感想はその都度発言し、授業内で消化すること。</p> <p>体験は人それぞれなので、自分の固有の体験に正直になり、学びにすることが重要である。</p>					
教科書	必要に応じてプリントを配布する。					
参考書	<p>公認心理師の基礎と実践 第18巻 教育・学校心理学 第3版/編:石隈利紀/遠見書房</p> <p>スクールカウンセリングモデル 100 例/著:かしまえりこ・神田橋條治/創元社</p> <p>教育・学校心理学/編著:新藤聡彦・谷口明子/放送大学教育振興会</p>					
外部教材	なし					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針		
①	教育現場において生じる問題及びその背景を理解し分析できる。			HC(1)、HC(2)		
②	教育現場における心理社会的課題及び必要な支援を分析できる。			HC(3)、HC(5)		
③						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	オリエンテーションを行う。教育・学校心理学の全体像を理解する。	講義・演習	受講の意志を明瞭にする。授業後にコメントシートを提出する。	2		
2	教育・学校心理学の意義を学ぶ。	講義・演習	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4		
3	子どもの発達課題への取り組みの理解と援助について学ぶ。	講義・演習	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4		
4	子どもの教育課題への取り組みの援助について学ぶ。	講義・演習	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4		
5	スクールカウンセリングの枠組みについて学ぶ。	講義・演習	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4		
6	子どもの多様な援助者によるチーム援助、3段階の心理教育的援助サービスについて学ぶ。	講義・演習	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4		
7	発達障害の理解と援助について学ぶ。	講義・演習	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4		
8	不登校の理解と援助について学ぶ。	講義・演習	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4		
9	いじめの理解と援助について学ぶ。	講義・演習	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4		
10	非行の理解と飛行をする子どもの援助について学ぶ。	講義・演習	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4		
11	学校における危機対応について学ぶ。	講義・演習	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4		
12	学級づくりの援助について学ぶ。	講義・演習	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4		
13	学校づくりの援助について学ぶ。	講義・演習	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4		
14	地域ネットワークづくりの援助について学ぶ。	講義・演習	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4		
15	まとめとフィードバックを行う。	講義・演習	全体の学びをまとめる。授業後にコメントシートを提出する。	6		
試	レポート試験 達成度評価・評価のポイントを参照					

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	70	0	0	30	
総合 力 指 標	知識・技術力	0	10	0	0	10	20
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	10	20
	コミュニケーション力	0	10	0	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	0	10
	問題を発見・解決する力	0	20	0	0	10	30
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	理解度を問う応用問題などから構成される。知識を用いて思考、表現ができているかどうか、学生固有の体験から学ぶことができているかを評価する。また、具体的に丁寧に書かれているかどうかを評価する。				レポートを返却し、解説とフィードバックを行う。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎回の授業後にコメントシートを記入する。具体的に丁寧に書かれているか、自分の日常の体験と繋いで理解できているかを評価する。 (2点×15回=30点)				コメントシートに教員がコメントを加えて返却する。必要に応じて次回の授業で補足する。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	臨床心理士として18年、公認心理師として7年の臨床経験を有する。						
実践的授業の内容	ミニワークを数多く取り入れ、ディスカッションを軸に授業を展開する。その際にグループセラピーの技術を応用する。個人情報に配慮しつつ、事例などを用いて体験から学ぶことを促す。						
そ の 他	生成 AI (ChatGPT 等) を使用した課題作成は認めない。発見した場合は、評価を減じる。 公認心理師資格習得希望者は必ず履修すること。  授業に参加し、自ら学ぶことが求められる。その点を理解の上受講すること。 教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は対面授業の参加を認めない。						